

海野さん(若松出身)巨人に入団



「憧れられる選手になりたい」と意気込む海野さん

会津若松市出身の海野輝夏さん(18)はクラーク記念国際高校が読売巨人軍が運営する女子硬式野球クラブチーム「読売ジャイアンツ女子チーム」に捕手として入団した。海野さんは「女子野球を普及させるためにも、憧れられる選手になりたい」と意気込みを語る。海野さんが本格的に野球を始めたのは小学1年。2人いる兄の背中を追いかけ、地元の城西学園野球クラブに入団し、二塁手や遊撃手などを任された。若松四中では野球部に入り、男子に交じって白球を追いかけた。中学2年からは、同期に発足した女子軟式野球チーム「いわき松風ガールズ」に所属。平日は部活動、週末にはいわき市に通って技術を磨いた。

女子硬式野球「憧れられる選手に」

「もっと野球に集中できる環境で過ごしたい」と高校女子硬式野球の強豪、クラーク記念国際高校(仙台市)に進学し、初めて捕手を担当した。経験がなく不安もあったが、投手の持ち味を引き出すことに魅力を感じた。2年生から正捕手となり、この年に開かれた全国高校女子硬式野球ユース大会で優勝に貢献した。進路を模索する中、大学に通いながら野球に専念できる読売ジャイアンツ女子チームに興味を沸かした。実技審査などの入団テストを経て見事、合格。今年から

チームに合流している。憧れの選手に、日米で野球殿堂入りしたイチローさんを挙げる。昨年9月、高校野球女子選抜チームの一員として東京ドームでイチローさんのチーム「KOBEL CHIBEN」と対戦した海野さん。「イチローさんの球がすごく速かった」と三振と左飛に倒れたが、試合後にイチローさんにかげられた「自分の限界を決めずに上を目指せ」の言葉が忘れられない。

4月からは日本体育大学スポーツ国際学科に進学する。読売ジャイアンツ女子チームでの目標は、全日本女子硬式クラブ野球選手権大会の3連覇だ。海野さんは「周りの選手に追い付きたい。野球を続けたいと思っている女子のお手本になりたい」と闘志を燃やす。地元中学校生らに指導

▲ 3月3日 福島民友新聞掲載

海野さんが巨人に入団するまで、どのような経緯がありましたか。

海野さんはクラーク記念国際高等学校でどのようなことを経験しましたか。

海野さんが憧れている選手とはどのような交流がありましたか。